

中野陽介写真展「雪と共に生きる―雪国・福島県只見町の自然と人の暮らし―」

圧倒的な豪雪は、季節のリズムを強調し、人も野生生物も自然の力に平等に規定されて生きていることを再認識させてくれる。



中野陽介氏プロフィール

1987年生まれ。新潟大学で多雪地域の樹木生態を学び、2012年に只見町へ移住。町役場職員として勤務しながら雪と関わる自然・文化を撮影。2019年、多雪環境に適応したサワグルミの生態研究により博士号(農学)を取得。

山岳写真や自然写真分野の発展と新人発掘を目的として開催された「第7回田淵行男賞写真作品公募」は、令和7年4月に選考結果が発表され、中野陽介氏の「雪と共に生きる」は、最優秀作品である田淵行男賞に選ばれました。作品は、東京新宿のニコンプラザ東京、大阪御堂筋のニコンプラザ大阪、安曇野の田淵行男記念館で巡回展が行われ、昨年11月の只見町文化祭に次いで、福島県内では2回目の展示となります。

2026年 3月7日(土)

→ 5月17日(日)

会場 奥会津ビジターセンター(道の駅会津柳津内) 9:00-17:00
定休日/月曜日(祝日の場合は翌平日)

お問い合わせ 奥会津ビジターセンター(道の駅会津柳津内)
〒969-7201 福島県河沼郡柳津町大字柳津字下平乙179
電話 0241-42-7081

入場無料